

## 6月9日（火）臨時朝礼にて 校長講話

6月に入りました。4月から新しい学年が始まって、2ヶ月が過ぎました。それぞれの学年で1年生はオリエンテーション合宿、2年生は職場体験、3年生は修学旅行という学年の中でも非常に大きな意味をもつ行事を終えることができました。学習面では、中間テストを終え、結果が出たところです。

さて、行事やテストを皆さんはどう活かすのでしょうか。今日は一つ、この言葉を紹介いたします。知っている人もいると思いますが、多くの会社で使われている言葉です。最近では、個人や学校でも取り入れられるようになってきました。

P これは、計画を意味するプラン（plan）英語の頭文字を表します。

D これは、活動とか行動、行うことを表すドゥ（do）の頭文字Dです。

C 3つめはC、チェック（check）の頭文字、点検する、確かめるという意味でしょうか。そして4つめ。

A です。インターネットなどで検索すると、行動するという意味の action のAというのと、改善するという意味の act のAというのと二通りあると思います。これは、その時々で使い分けてもらえればいいと思います。

これを「PDCAサイクル」といいます。つまり、何か計画を立てる。そして計画に従って do 行う、やってみる。そして、その結果が出た時にチェックする。そして、見つかった良い点は続け、良くなかった点は改善する。皆さんは、大きな行事、大きなテストを終えた時、ここ（do）で終わっていませんか。C（check）はどうですか。計画通りに出来たのか、学校生活で出来ていることが、外でもやれたのか。先生達は、今、ここ（check）で皆さんを見ています。うちの学年の子たちはどこまでできたのか。これからどうして行くのかということを考えています。みなさんも、考えてみて下さい。良かった点はたくさんあったと聞いていますし、先生も見ました。これは、これからも伸ばして下さい。そして、良くなかった点もいくつかありました。次に同じような機会があった時に、その反省点を計画に織り込んで下さい。PDCAの次に、またPDCAこれを具体的に進めていくと、よりよいものができていくと思います。みなさんの成長を期待しています。